

平成24年度校長室だより



# 夢に向かって

第5号

【発行元：下野市立国分寺小学校長 鈴木伸一】 平成24年10月11日

聴き合ってやさしき風を流し、学び合って命を輝かせよう

自分の命は自分で守ろう

夢に向かって生きよう

## ●1 はじめに

秋涼快適の季節となりました。

後期開始、半年が過ぎお子様は大きく成長し、より一層その学年らしくなってきました。(樹木で言うと)根も幹もしっかりとしてきました。そして、いよいよ後期です。実りの秋に心を、頭を、体をますます鍛えたくましくなって、冬の寒さを乗り切れる強さを身に付け、そして春は新しい学年や中学校への準備(芽生え)です。お子様のますますの頑張りと成長を期待します。



## ●2 諸活動のお知らせ

### 【前期終業式】

前期終業式(後期始業式を含む)では、お子様たちに以下のとおり(～内)話しました。  
～(前半略 常体にて掲載)

国分寺小の皆さんのめあては、「進んで学び、やさしく元気いっぱい、夢に向かって生きる」。まだ半年残っているが、どのくらいできるようになっただろうか。

今日は教室で、担任の先生から「学びの姿」をいただく。

担任の先生は、一人分の「学びの姿」をつくりあげるのに、1時間や2時間どころではない、とても多くの時間をかけてくださっている。

「学びの姿」には担任の先生が、みんなをよくみて、みんながもっともっと成長してくれるように、○をつけてくれたり、だれにも良いところや頑張ったことを書いたりしてくださっている。自分のよいところ、頑張ったことをしっかりと確認してほしい。

前期が終わり、後期が始まる節目にあたる今日は、竹の話から学びたいと思う。

私が小さいころ、家の周りは竹が生えていて、言わば「防風林」の役目をしていた。強い北風が吹いても、竹がそれを防いで家を守ってくれていた。また、その竹(タケノコ)が、床の下から生えて来て畳を持ち上げてしまうことが度々あった。竹には、1日に1メートルも伸びる時期があるそうだ。

このように竹は、倒れにくく、成長する力が強い。どうしてか。それは、竹の茎は縦につながった“筋”でできていて、しかもその筋だらけの茎には“節”があるから。この“筋”で高く伸びようとする。それだけでなく、“節”を作るたびに強くなる。人間の成長に例えると、筋は「筋を通す」という言葉があるが、それはみなさんの「夢」(目標)。そして、節は、「節目」区切り」。反省し改善すること。

竹の“筋”、皆さんの「夢」(目標)に向かって、竹の“節”のように、ここで「区切り」をしっかりつけて、前期の反省をし後期の新たな目標を立てよう。

しっかりした「夢」をもち、その達成のために、節目をつけ新たな目標を立て、それに向かって努力していこう。

皆さんが、竹のように強くすくすくと成長することを期待する。～

お子様の夢(目標)への努力を期待し、益々のご成長を心よりお祈りいたします。

### 【下都賀地区音楽発表会】

9月25日(火)午前中、下都賀地区小学校音楽発表会の合唱の部(各市町代表21校参加 栃木市文化会館にて)が行われました。本校合唱部3～6年生41名の皆さんは、21校中10番目に登場しました。緊張のステージにもかかわらず、19日(水)の音楽集會や22日(土)の下野市小中学校音楽祭(石橋中)での発表も大変上手でしたが、それ以上にととめすばらしい歌声と美しいハーモニーを響かせてくれ、県音楽祭中央祭(10月22日(月)県教育会館)参加への推薦を得ることができました。

早くから昼休みや放課後などを返上したり、暑い夏休み中も練習したりしてその成果が十分に発揮でき、子どもたちも充実感を得られたことでしょう。この自信と経験を県でも生かしてきてほしいと思います。

ご支援ご協力ご観覧等いただいた保護者の皆様に御礼申し上げます。